

歯科材料 09 歯科用研削材
一般医療機器 歯科用ゴム製研磨材 JMDN70903000

ピー・ピー ポイント

【禁忌・禁止】

- ・指定された用途以外には使用しないこと。
- ・無理な角度や過度の加圧はしないこと。

【形状、構造及び原理】

【概要】

：歯科用ゴム製研磨材

本品は、砥石部①と軸部②で構成される。

砥石部は、研磨成分（酸化アルミナ）ゴム基材（ポリウレタン）

軸部は、JIS 5504-1：2001（歯科用回転器具—軸—第1部：金属）
のHP

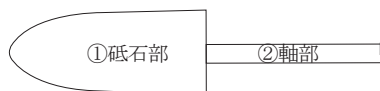
【形状、構造】

：本品は、砥石部①と軸部②から構成される。

砥石部はゴム基材で結合された研磨成分から成る。

軸部はストレートハンドピースに装着されるようになっている。

本品は、2種類の粗さがある。



【原理】

：砥粒による研削。

【原材料又は構成部品】

①砥石部：研磨成分：酸化アルミナ

ゴム基材：ポリウレタン

②軸部：JIS 5504-1：2001（歯科用回転器具—軸—第1部：金属）
のHP用

【使用目的又は効果】

ゴム基材で結合されたさまざまな研磨成分から成る歯科用研磨材。
ポイントである。

【使用方法等】

JIS 5907：2001（歯科用ハンドピース—第2部：ストレート及び
アングルハンドピース）又は、同等の規格を満たしたハンドピース
に装着して使用する。（最高使用回転数：10,000回転/分）

【使用上の注意】

- ・10,000回転/分の最高許容回転速度（回転数）を超えて使用しないこと。
- ・天然ゴムに対してアレルギーや発疹、皮膚炎などの過敏症状の既往歴のある術者は使用しないこと。
- ・使用にあたってはハンドピースメーカーの指示に従って、シャンクを確実に奥まで挿入し半チャックではないことを確認すること。
- ・使用前に予備回転を行い、振れがないことを確認すること。
- ・頭部の細いもの、長いもの、大きい形状のものは、折れたり曲がったりすることがあるので、無理な角度や過度の加圧での使用は避けること。
- ・研磨時の摩擦熱によりゴムが劣化することがあるので、過度の加圧や高回転速度での連続的な使用は避けること。
- ・変形、キレツ、損傷（錆、表面キズ、曲がり、汚損）等のあるものは使用しないこと。
- ・本材を使用して研磨を行う場合は、局所集塵装置、公的機関が認定した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。

- ・本材使用により発疹、湿疹、発赤、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせる又は受けること。
- ・本材は研削、研磨の際には保護メガネ等を使用すること。
- ・本材が万一目に入った場合には、直ちに大量の水で洗浄した後、眼科医の診断を受けさせる又は受けること。
- ・本材は歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

【保守・点検に係る事項】

〔使用前点検〕

使用前にはルーペ等により傷等の検査を行う。

【保管方法】

- ・水分、腐食性薬剤及びその蒸気に暴露を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けないように保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

有限会社 ブロップ

電話 052-618-5777